国土交通省
国土地理院

国土地理院広報

2024年12月発行　　第678号



富士山から望む日の出

CONTENTS

1. 令和7年測量士・測量士補試験のご案内 …… 2
2. 富士山で三角点の測量作業を実施～基準点の標高改定に向けた取組～ …… 3
3. G空間EXPO2025において国土地理院も各種イベントを開催 …… 4
4. 「令和6年度大規模津波防災総合訓練」に参加 …… 5
5. 「つくば科学フェスティバル 2024」に出展 …… 6
6. 「自然災害伝承碑」ウェブ地図「地理院地図」での公開数 …… 7
7. 11月の報道発表・1月の主な行事予定 …… 7

令和7年測量士・測量士補試験のご案内

令和７年測量士・測量士補試験を次のとおり実施します。

今回の試験からオンライン（電子申請）により申し込むことができるようになります。

1 試験日時及び試験地

(1) 試験日時

①測量士試験　　令和７年５月18日（日）
　　午前10時から午後４時まで

②測量士補試験　令和７年５月18日（日）
　　午後１時30分から午後４時30分まで

(2) 試験地

北海道、宮城県、秋田県、東京都、新潟県、富山県、愛知県、大阪府、島根県、広島県、香川県、福岡県、鹿児島県、沖縄県

※会場確保の都合上、やむを得ず近隣府県に試験会場を変更又は追加する場合があります。

2 受験手続

(1) 受験願書受付場所

国土地理院総務部総務課
（〒305-0811 茨城県つくば市北郷１番）

(2) 受験願書受付期間

令和７年１月６日（月）から１月30日（木）
午前８時30分から午後５時15分

なお、追跡できる郵送の場合は１月30日(木)までの日付の消印があるもの、追跡できない郵送（普通郵便、後納郵便、別納郵便等）の場合は１月30日（木）までに到着したものに限り受け付けます。

オンライン（電子申請）の場合は、オンライン上での申請後、１月30日（木）までに受験料が納付されたものに限り受け付けます。

(3) 受験願書用紙等の交付

受験願書用紙及び受験案内は、令和７年１月６日（月）から、次の場所において交付します。

郵送により請求する場合は、封筒の表に「願書請求○部」と朱書きし、宛先明記の返信用封筒（角形２号以上）に必ず所要の切手を貼付し同封してください。

ただし、都道府県の土木関係部局の主務課、公益社団法人日本測量協会本部・各支部では郵送の取扱いはしません。

◎国土地理院本院及び地方測量部・支所
◎各都道府県の土木関係部局の主務課
◎公益社団法人日本測量協会本部・各支部

3 合格発表及び通知

測量士：令和７年７月８日（火）
測量士補：令和７年６月26日（木）

国土地理院ホームページに合格者の受験番号を掲載します。

また、全受験者宛てに試験の結果（合否）を通知します。

4 試験問題等の公表

国土地理院ホームページにおいて、試験日の翌日以降、試験問題及び解答を掲載します。

5 その他

オンラインによる申込方法や試験に関する手続き等は、国土地理院ホームページで案内しておりますので、ご確認ください。

6 試験に関する問い合わせ先等

国土地理院総務部総務課試験登録係
電話番号　029(864)8214、8248
https://www.gsi.go.jp/LAW/R7shiken_00001.html



（総務部）

富士山で三角点の測量作業を実施　～基準点の標高改定に向けた取組～

国土地理院では、令和７年４月１日に国土地理院が管理する基準点の標高成果について、衛星測位を基盤とする最新の値に改定します。その標高成果の改定に向けた準備の一環として、富士山に設置している三角点において測量作業を実施しました。

■ 全国の標高成果の改定

国土地理院では、令和７年４月１日に国土地理院が管理する電子基準点、三角点、水準点等の基準点の標高成果について、衛星測位を基盤とする最新の値に改定します。これにより、長年の地殻変動で累積した標高成果のズレを解消するとともに、水準測量による標高取得よりも迅速に標高の取得が可能になります。

■ 富士山（剣ヶ峯）での測量作業

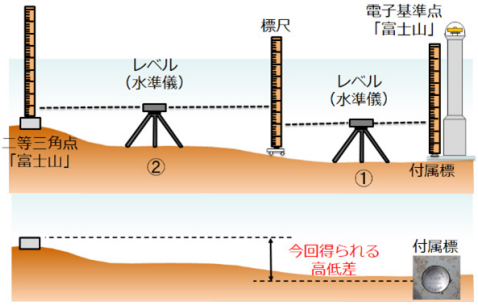
国土地理院では、標高成果の改定に向けた準備の一環として７月25日に富士山（剣ヶ峯）に設置している電子基準点「富士山」と二等三角点「富士山」の高低差を求める水準測量を実施しました。



剣ヶ峯に設置している電子基準点と三角点

作業当日は、天候にも恵まれ気温10℃前後の気象条件で作業を行いました。まずは器材受取場所（富士山頂郵便局から西約190m地点）から剣ヶ峯まで約200m（高低差約60m）の距離を作業員４名で分担し測量器材を運びます。通常であれば数分で移動できるところ、空気が薄いこと、剣ヶ峯を目指す登山者が多いこともあり、荷揚げだけで時間と体力を要してしまいました。

観測は、レベル（水準儀）と２本の標尺を用い、電子基準点付属標から三角点までの16mを２測点で実施しました。また、三角点が設置してある場所は登山者の撮影スポットとなっており、多数の視線を浴びながらの観測は緊張の連続でしたが、無事に完了することができました。



水準測量（高低差測定）の概要



観測風景

観測の結果、電子基準点付属標から三角点までの高低差は「0.659m」であることが確認できました。この結果を用いた三角点の新しい標高成果は「3775.56m」となり、5cm高い結果となります。（現在の標高成果　3775.51m）

■ 終わりに

国土地理院では、着実に標高成果の改定に向けて準備を進めていきます。また、標高成果の改定に関する情報を公開していますのでご覧ください。

「全国の標高成果の改定【予告】」ページ
https://www.gsi.go.jp/sokuchikijun/hyoko2024rev.html

（測地部）

G空間EXPO2025において国土地理院も各種イベントを開催

令和7年1月29日（水）～31日（金）に「G空間EXPO2025」を東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催します。その中で、国土地理院は「Geoアクティビティコンテスト」、「地理院地図パートナーネットワーク会議」等を開催します。

○G空間 EXPO2025

産学官民の連携により、地理空間情報の活用の有効性や最新技術の動向に係る講演、展示、シンポジウムを行うことで最新の地理空間情報技術の活用推進及び普及啓発を図るイベント、「G 空間EXPO2025」を開催します。今回は初めて、東京ビッグサイトにおいて国際宇宙産業展、防災産業展、グリーンインフラ産業展と同時開催します。

＜開催概要＞
日時：令和７年１月 29 日（水）～31 日（金）
10:00 ～ 17:00
※オンライン開催
令和７年１月 22 日（水）～２月７日（金）
<https://springfair.nikkan.co.jp/>
会場：東京ビッグサイト 南４ホール
入場登録：入場無料／登録制
下記 URL（日刊工業新聞社（共催者）
４展合同サイト）より登録可
<https://springfair.nikkan.co.jp/>

以下、国土地理院のイベントを紹介します。

○ Geo アクティビティコンテスト

「Geo アクティビティコンテスト」は、厳正なる選考の結果、出展者（15 者）を決定し、G空間情報に関する先進的な取組、新たなサービスなどを展示とプレゼンテーションで紹介します。また、産学官の有識者からなる審査委員会において審査を行い、優秀な作品を表彰します。

１月 31 日（金）12:30 から各出展者によるプレゼンテーションと表彰式を行います。

○セミナー「新たな標高基準と３次元地図への期待」

国土地理院は、地理空間情報活用推進基本法における二本柱である衛星測位と GIS の基盤として、衛星測位を基盤とする新たな標高体系の整備や、ベース・レジストリ（公的基礎情報データベース）である電子国土基本図の3次元化に取り組んでいます。国土地理院から最新状況を報告し、さらに高度なG空間社会への期待について有識者からお話しいただきます。

１月 30 日（木）13:30 から出展者セミナー会場において開催します。

○国土地理院施策紹介ブース

前述のセミナーでご紹介する衛星測位を基盤とする新たな標高体系の整備や電子国土基本図の３次元化のほか、能登半島地震における国土地理院の災害対応等の最近の取組、更に日本全国の地形を見ることができる床張りのデジタル標高地形図や各種３次元データ等の見て楽しめる内容も展示します。

○第16回 地理院地図パートナーネットワーク会議

地理院タイルをはじめとする地理空間情報の利活用事例についての講演及び地理院地図パートナーによる発表を行います。

１月 29 日（水）13:00 から東京ビッグサイト会議棟7階 703 会議室において開催します。



最新の情報については、G空間 EXPO 公式サイト（https://www.g-expo.jp/）のほか X（旧 Twitter）（@ g_expo）をぜひご覧ください。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

（地理空間情報部、防災・地理空間情報企画センター）

「令和６年度大規模津波防災総合訓練」に参加

11 月 4 日に和歌山県和歌山市で南海トラフ地震を想定した大規模津波防災総合訓練が、国土交通省をはじめとする防災関係機関など 120 機関が参加して行われました。国土地理院は、地震時地盤災害推計装置（SGDAS）による情報伝達及び測量用航空機「くにかぜIII」による情報収集について映像による紹介を行い、展示ブースでは、国土地理院の防災・減災に向けた取組など防災啓発展示を行いました。

本訓練は、11月５日の「津波防災の日」、「世界津波の日」にあわせ、地震による大規模津波の被害軽減を目指すとともに、津波に対する知識の普及・啓発を図ることを目的として、平成 17（2005）年に始まり、今年で 18 回目の開催となります。

今年は、和歌山県和歌山市の会場で関係機関や地域住民等約 2,000 人が参加し、開会式での国土交通大臣の挨拶を皮切りに訓練が開始されました。



開会式の様子

訓練は、南海トラフ地震による津波襲来を想定し、救命・救出、情報収集・伝達、道路啓開、ライフラインの復旧等を行う実践的な内容で、国土地理院は、情報収集・伝達訓練に参加しました。

情報伝達訓練では、地震時地盤災害推計装置(SGDAS) による斜面災害・液状化の発生地域・規模の推計結果を防災関係機関に伝達しました。



SGDAS による情報伝達訓練

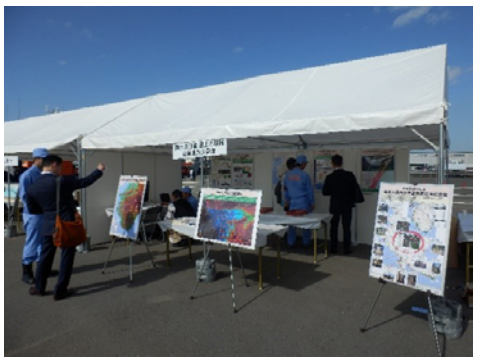
情報収集訓練では、くにかぜⅢによる緊急撮影と撮影成果の利活用についての動画を大型モニターで紹介しました。



くにかぜⅢによる情報収集訓練

展示ブースでは、防災に役立つ地理院地図の操作体験、令和６年能登半島地震や平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震での国土地理院の対応などに関するパネル展示を行い、余色立体図では来場者の方々に赤青メガネで紀伊半島の起伏を立体的に見る体験もしていただきました。

来場者には、過去に発生した南海トラフ地震にまつわる自然災害伝承碑をまとめたパンフレットを配布し、巨大地震と津波が繰り返し発生していることから、災害の教訓を伝承していくことの大切さを伝えました。



国土地理院展示ブースの様子

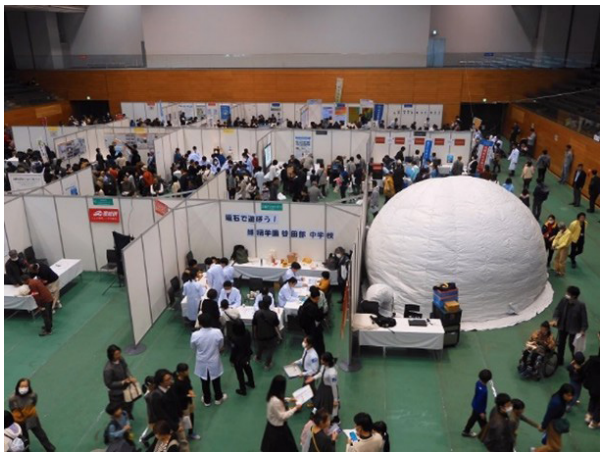
国土地理院は、今後も防災関係機関が実施する防災訓練に参加し、国土地理院の各種コンテンツや災害時の対応について紹介していきます。

（近畿地方測量部）

「つくば科学フェスティバル2024」に出展

11月9日、つくばカピオ（茨城県つくば市）において開催された「つくば科学フェスティバル2024」に出展しました。同フェスティバルは毎年行われていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による休止を経て、2022年から隔年開催となりました。

「つくば科学フェスティバル」は、つくば市内の科学に関わる学校・企業・研究機関等が集合して、科学実験や科学工作などのブースを出展するイベントです。当日は天候にも恵まれて、多くの来場者で賑わい、とても盛況でした。

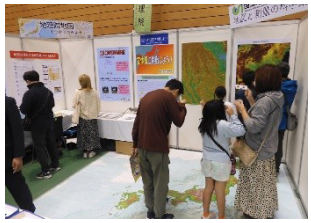


会場全体の様子

国土地理院は、「日本の凹凸を体験しよう!」と題したブースを出展しました。

「日本列島余色立体図（1/75万）」の床展示では、3Dメガネをつけて日本列島の上を歩き、迫力ある地形に驚きの声を上げる方がいました。「実体鏡で立体視体験をする」コーナーでは、立体視の仕組みに感嘆する声がありました。また、「地理院地図」と「立体地図模型」のコーナーでは、操作方法や作り方など、職員の説明を熱心に聞かれる方の姿がありました。





国土地理院ブースでの展示

（総務部）

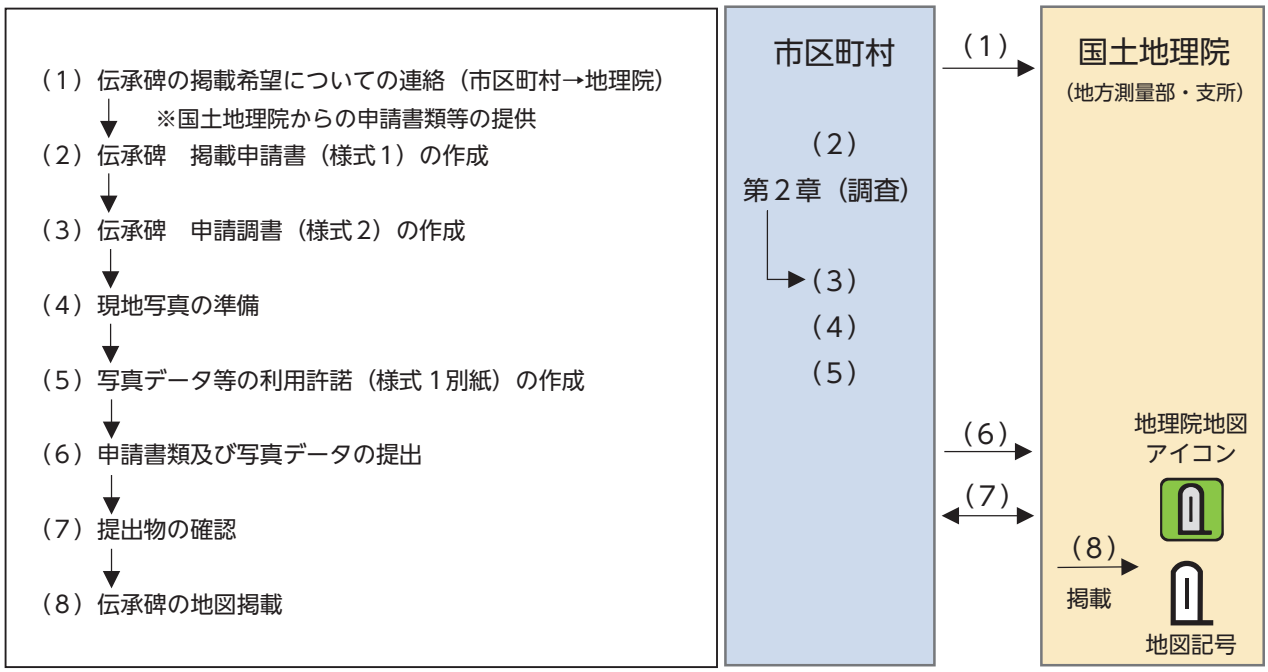
「自然災害伝承碑」ウェブ地図「地理院地図」での公開数　令和6年12月25日現在

47　都道府県	639　市区町村	2234　基

詳細については、自然災害伝承碑のページ (https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi) をご覧ください。

［市区町村の担当者の皆様へ］ 自然災害伝承碑に関する当院への情報提供にご協力をお願いいたします。

自然災害伝承碑の申請の流れ



様式や手続きの詳細は「自然災害伝承碑に係る調査業務　実施の手引き 第6版（令和6年3月）」(https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi_info.html) をご覧ください。

11 月の報道発表

発表日	件名	担当部署
1 日	令和 6 年度第 1 回 測量行政懇談会 流通・活用制度部会の開催	防災・地理空間情報企画センター
11 日	令和 6 年 10 月の地殻変動	測地観測センター 地理地殻活動研究センター
13 日	関西 G 空間フォーラム in 兵庫を開催 「GIS とデータ利活用の歩み　～阪神・淡路大震災から 30 年～」	近畿地方測量部
26 日	「G 空間 EXPO2025」を 1 月 29 日～ 31 日に開催します！ ～今年のテーマは「G 空間が織りなす豊かな社会へ」～	防災・地理空間情報企画センター
28 日	令和 7 年度測量士・測量士補試験の日程を公表	総務部
29 日	令和 6 年度 国土地理院関係補正予算について	企画部

報道の内容は、国土地理院ホームページ＞ 2024年 報道発表資料一覧 (https://www.gsi.go.jp/WNEW/PRESS-RELEASE/press-2024.html) をご覧ください。

1 月の主な行事予定

月日	行事
1/4～2/16	地図と測量の科学館 企画展　第 28 回　全国児童生徒地図優秀作品展
1/6～1/30	令和7年測量士・測量士補国家試験　受験願書受付

国土地理院広報は、
国土地理院ホームページ＞広報誌＞国土地理院広報
(https://www.gsi.go.jp/WNEW/koohou/) に掲載しています。

発行　国土交通省国土地理院
Geospatial Information Authority of Japan
〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番
TEL 029-864-6255
FAX 029-864-6441
連絡先：総務部広報広聴室
国土地理院ホームページ
https://www.gsi.go.jp/